

2014. 6. 12

～渡航情報（広域情報）～

（件名）

東アフリカ地域：テロの脅威に伴う注意喚起

（内容）

1 6月12日から7月13日の間、2014年FIFAサッカーワールドカップ・ブラジル大会が開催される予定です。ウガンダでは、前回ワールドカップ（南アフリカ大会）決勝戦開催中の2010年7月11日の夜、首都カンパラ市内のパブリック・ビューイング会場とレストランの2カ所でソマリアのイスラム過激派組織「アル・シャバーブ」による爆弾テロ事件が発生し、74人が死亡、84人が負傷する大惨事が発生しました。

2 東アフリカ地域では、アル・シャバーブによるテロ攻撃が活発化しており、不安定な治安状況が継続しています。昨年9月21日、ケニアの首都ナイロビのショッピング・モールが襲撃され、外国人を含む67人が死亡、175人以上が負傷しました（2013年9月22日付スポット情報「ケニア：ナイロビ市内におけるテロの発生に伴う注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2013C392>

参照）。最近でも5月24日、ジブチの首都ジブチ市内のレストランで自爆テロが発生し、外国人を含む多数が死傷しました（5月26日付スポット情報「ジブチ市内における自爆テロの発生に伴う注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2014C198>

参照）。いずれもアル・シャバーブが犯行声明を出しています。

アル・シャバーブはソマリア派兵国に対するテロ攻撃を行うと累次に渡り警告を発しており、特にソマリア周辺の派兵国（ケニア、ウガンダ、エチオピア、ジブチ、ブルンジ）で脅威が高まっています。

3 ついては、東アフリカ地域に渡航・滞在される方は上記に十分留意するとともに、公共の場等においてサッカーワールドカップを観戦される場合、会場の選定に十分注意を払い、最新の治安情報の入手に努めてください。また、外国人が多く利用する施設や、人が多く集まる施設（ショッピング・センター、ホテル、レストラン、空港等）を利用する際にも細心の注意を払ってください。加えて、テロの標的となりうる政府・軍・警察等関係施設、外交団・国連関係

施設、宗教施設等へは近づかない、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど、自らの安全確保に努めて下さい。

4 また、最近のスポット情報及び危険情報( <http://www.anzen.mofa.go.jp> ) を改めて確認するとともに、渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場の同僚等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。また、テロ事件等に遭遇した際には、日本国大使館に速やかに連絡を取るようお願いします。さらに、緊急事態に備え、携帯電話にあらかじめ大使館の連絡先を登録するとともに、ご質問等がある場合は、大使館にご連絡ください。

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3680

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

○外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>

：<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)